

令和二年二月二十八日開会

令和二年度池田町一般会計予算、特別会計予算
並びに企業会計予算提案説明要旨

令和二年度の町政に取り組む施政方針及び一般会計・特別会計並びに企業会計についてご説明申し上げます。

現在、我が国の経済情勢は、海外経済の減速等により外需が弱まっているものの、雇用・所得関係の改善により、内需を中心とした景気回復が期待されております。ただし、先行きのリスクとして、通商問題を巡る動向、英国のEU離脱等の海外経済の動向、金融資本市場の変動の影響には十分留意する必要があります。

このような中、政府は「経済再生なくして財政健全化なし」を基本方針として、潜在成長率の引き上げによる成長力の強化に取り組むとともに、消費税率引き上げ後の財源を活用し、幼児教育・保育の無償化などをはじめとした全世代型社会保障の構築に向けて、持続可能な改革を進めることとしています。

一方、県内経済に目を転じますと、個人消費は消費税率引上げに伴う駆け込み需要がみられたものの、食料品は軽減税率の適用もあって、反動減は限定的であり、緩やかな持ち直しの動きがみられます。生産面では、輸送機械や金属製品を中心に持ち直しの動きに一服感がみられ、雇用面では有効求人倍率等の関連指標は下降傾向にあるものの、多くの分野において依然として人手不足が慢性化した状態となっています。

こうした中、本町においては人口減少が深刻化しており、それに付随する町の機能低下が懸念されています。人口の減少は、町の活力を失うことにも繋がりがかねないため、今後は人口が減少しても、町の機能を維持し、活力を損なわない、持続可能な地域社会を構築することが求められます。

また、近年地球温暖化による異常気象が常態化しており、大雨・洪水・土砂災害などが、いっどこで起

きるか予測不可能な状況であります。まずは、町民の皆様が自分の命は自分で守るということを考えていただきながら、町としてできることは何であるかを検討していく必要があります。

令和二年度においては、町の将来像「ぬくもりあふれるまち 池田町 くふれあいが未来を育む、人と人がつながり合い成長する都市へ」の実現を目指す、第六次総合計画のスタートとなる年です。厳しい財政状況の中、持続可能な地域社会を構築するため、第一に防災減災対策事業や公共施設の老朽化対策・適正配置など、町の活性化に資する事業を積極的に展開していく方針です。

そして今年度の事業として、デジタル同報無線戸別受信機の配備や池田中学校旧食堂・給食センターの解体、若い世代の経済負担の軽減として、来年に進学を控えた小学六年生と中学三年生の給食費の無償化を行います。東京パラリンピック聖火フェスティバルの関連行事として、舟子地区萩ヶ谷神明神社にて採火式を行います。さらに、ねんりんピック岐阜大会二〇二〇の開催に伴い、池田町ではスポーツウエルネス吹矢交流大会を行い、全国より来町される選手へのおもてなしを通して、町のPRに努めます。

また、令和二年四月から受益者負担の適正化や、消費税率引き上げなどによる物価変動に鑑み、公共施設の使用料・手数料を改定しますが、今後もさらなる住民サービスの向上や施設設備の充実、運営コストの削減に努めてまいります。

なお、町全体としましては、総合計画の5つの基本理念「未来（子育て支援や教育の充実）」「元気（適切な医療体制の提供や福祉の充実）」「活気（地域の活性化のための観光振興やスポーツ振興等）」「快適（安心安全の暮らしに欠かすことのできない防災対策やインフラ整備）」「経営（住民と協働し、明確で無駄のない財政運営）」を念頭に置き、地方創生、福祉、教育、観光事業等を充実させ、よりよいまちづくりを進めてまいりますので、議会におかれましてもご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、本町の令和二年度予算規模についてですが、

一般会計	八十九億五千四百万円
国民健康保険特別会計	二十三億五千八百万円
後期高齢者医療事業特別会計	三億 五百万円
農業集落排水事業特別会計	三億七千八百万円
公共下水道事業特別会計	十一億八千九百万円
温泉施設特別会計	二億七千八百万円
小水力発電事業特別会計	八百万円

で、総額百三十四億七千万円の前年度対比三億六千八百万円（二・八％）増の予算と致しました。

それでは、町の重要施策と予算の概要についてご説明申し上げます。

初めに一般会計についてご説明申し上げます。

歳入について、町税につきましては、税率改正により法人町民税の減少が見込まれるものの、給与所得の伸びなどによる個人町民税の増加や家屋の新増築の増加などによる固定資産税の増加が見込まれ、前年度対比で〇・九％増の二十九億二千二百三十七万九千円を計上しました。

地方消費税交付金につきましては、昨年の消費税率引き上げによる地方への配分額増加により、前年度対比二十一・八％増の五億二百万円を計上しました。

地方交付税につきましては、国における地方財政計画の増減率及び前年度実績を勘案し、普通交付税については前年度対比一・九％増の十六億円、特別交付税については前年度対比一・九％減の一億六百万円を計上しました。

寄附金につきましては、前年度対比〇・一％増の四億六百万三千九百九十九円を計上しました。そのうち、ふるさと納税につきましては前年度と同額の四億円を見込んでいます。

町債につきましては、デジタル同報無線戸別受信機整備に係る事業債が増加することにより、前年度対比五十八・五％増の八億四千九百八十万円を計上しました。

繰入金につきましては、財政調整基金繰入金で二億円、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で一億八千万円を計上しました。

それでは、歳出について申し上げます。

総務部において、総務および消防防災関係では、庁舎及び町有施設管理業務などや防災情報伝達のため、デジタル同報無線戸別受信機の全世帯への無償貸与、消防団及び自主防災組織の活動支援並びに防災拠点整備事業を実施し、地域防災力の向上に努めます。これらに関する予算として八億四千七百五十四万円を計上しました。

公共交通関係では、一般社団法人養老線管理機構に対する負担金等や養老線利用促進事業によるマイルチケット21の助成制度については利用者も増加傾向にあり、引き続き行ってまいります。コミュニティバスの運行事業については、交通弱者をさらに支援するため、デマンドバスやタクシー補助の導入を検討してまいります。地方創生事業については、地方創生推進交付金が活用できるよう、まちづくり事業や移住定住事業などと複合的に取り組んでまいります。統計調査事業は大規模調査事業である国勢調査を実施し、これらに関する予算として六億五千二百三十四万四千円を計上しました。

税務関係では、町税等賦課事務電算業務委託事業や土地家屋の現況調査委託事業、土地評価事業などを実施し、これらに関する予算として二千六十三万五千円を計上しました。

次に民生部において、戸籍住民関係では、戸籍・住民記録・印鑑の届出や証明書の発行、個人番号カードの交付、住民基本台帳ネットワークシステムの運用など、これらに関する予算として四千六百九十万一千円を計上しました。

環境関係では、池田町斎苑の取り壊しに向けた跡地購入費や解体撤去設計の委託、また家庭ごみを自ら集積所まで運搬することが困難な高齢者等のごみ出し支援事業を新たに実施してまいります。なお、リサイクルセンターは、令和二年四月より毎月第二日曜日の北部と南部の開場日を入れ替え、両施設を拠点としたごみの減量化と資源化を一層進めてまいります。これらに関する予算として三億九千五百三万二千元を計上しました。

社会福祉関係では、障がい者の介護支援や就労支援を行う自立支援給付事業、障がい児の発達支援や放課後等デイサービス事業を行う障害児福祉サービス事業、十八歳以下の子どもや重度心身障害者等の医療費を負担する福祉医療扶助事業など、これらに関する予算として八億九千六十万五千円を計上しました。児童福祉関係では、少子化対策として、すくすく赤ちゃん券支給事業、放課後児童クラブや児童館の運営事業、子育て世帯就労応援事業、保育料の無償化に伴う町負担や支援などを実施し、これらに関する予算として十二億八千四百一十五万円を計上しました。

高齢福祉関係では、七十八歳以上の方を対象とした敬老会事業など行い、介護保険関係では、揖斐広域連合より受託し全高齢者を対象とした一般介護予防を含め介護予防・日常生活支援総合事業を実施してまいります。後期高齢者医療関係では、岐阜県後期高齢者医療広域連合への医療給付費等に係る負担金などを合わせ、これらに関する予算として七億一千三百六十四万八千円を計上しました。

成人保健関係では、がん患者の医療用ウィッグ及び装着に必要な頭皮保護用ネット購入費に対する助成

制度を創設し、治療と就労、社会参加等との両立を支援し、療養生活の質の向上を図ってまいります。また、平成三十年度に策定した「池田町のち支える自殺対策計画」に基づき、自殺対策を支える人材の育成として研修会を実施してまいります。これらに関する予算として二千九百五十三万六千円を計上しました。

予防事業関係では、令和二年十月から予防接種法に基づく定期接種に追加される乳児を対象としたロタウイルスワクチンについても無料で接種を受けられる体制を整備してまいります。さらに、小児がん患者におけるワクチンの再接種費用の助成も実施し、経済的負担を軽減するとともに疾病の発生及び感染症のまん延の防止を図ってまいります。これらに関する予算として五千七百九十二万四千円を計上しました。

次に建設部において、農業振興関係では、茶業振興センターを活用し、茶業従事者の技術向上及び後継者育成、耕作放棄地対策を進めてまいります。また、担い手農家等への機械導入助成や、新規就農者支援を行ってまいります。さらに、農道や水路などの地域資源を守る環境保全を推進することとし、これらに関する予算として一億六千三十八万七千円を計上しました。

林業振興関係では、池田の森地内で広葉樹の植栽等を引き続き行い、森林環境の整備を進めます。また、里山林整備事業として霞間ヶ溪登山道の改修やふれあい街道の伐採事業を実施し、これらに関する予算として二千九百八十万二千円を計上しました。

観光振興関係では、大津谷公園の環境整備・霞間ヶ溪のもみじのライトアップなどの観光施設を整備するほか、温泉ガストロノミーウォーキングを実施し、ふれあい街道を中心とした体験交流を進め、池田山の魅力を生かした観光プロモーションコンピデオ映像制作に取り組み、観光情報を発信します。さらに、「西美濃広域観光推進協議会」や「西美濃夢源回廊協議会」といった広域観光の取り組みを活用して、中京・

関西方面などの旅行会社などへの観光PR活動も実施してまいります。これらに関する予算として六千七百十二万五千円を計上しました。

農業農村整備関係では、県営事業において、農道施設強化対策事業揖斐中部第四期地区に着手されるほか、新たに農村振興総合整備事業池田二期地区に事業着手され、農業用施設の補修・改良を進めてまいります。

林道関係では、県農林事業所が施工する治山事業に合わせ、新たに県単治山事業の集落環境保全工事に着手し、治山流路を整備します。これらに関する予算として二千九百万円を計上しました。

土木関係では、町道改良整備事業や社会資本整備総合交付金事業のほか、公共施設適正管理推進事業を加え、国庫補助金並びに起債を活用して社会基盤施設の長寿命化を進めてまいります。これらに関する予算として二億七百五十万円を計上しました。

なお、近年増え続ける空家の対策については、昨年度二回目の空家実態調査を実施するとともに、空家等対策計画を策定しました。今年度より危険空家等の除却に補助を設けるなど、実効性のある空家対策を実践してまいります。

道の駅池田温泉では、開駅から約八年八ヶ月が経つ中、これまで以上に池田温泉や池田町内外の諸団体との連携を強化したイベント事業を実施したり、レンタサイクルのモデルコース開拓により、道の駅利用者の増加を図ってまいります。また、各メディアやSNSなどを活用して様々な情報を発信し、町の観光拠点、地域振興施設としての役割を充実させ、年間三十五万人の利用者数を目指します。これらに関する予算として二千八百七十五万七千円を計上しました。

次に教育委員会において、学校教育関係では、昨年度より実施しております、小学六年生を対象とした

給食費の無償化に中学三年生を追加すると共に、多子世帯給食費の無償化や小学校の入学祝い金、中学生夢交付金制度を継続して実施し、子育て世代を支援します。

外国語活動推進事業として、中高生の海外派遣事業や外国語講師の派遣、英語活動支援員の配置、英語合宿を実施し、英語教育を推進します。また、小学校における新学習指導要領に対応した教科書改定に伴い、指導書の購入並びに今年度より義務化がされますプログラミング教育支援に外部講師を招き、授業が円滑に実施できるようにいたします。

小学校の改修工事としては、老朽化した池田小学校の屋外トイレの改修並びに八幡小学校の体育館トイレの洋式化を実施します。また、中学校では、旧食堂・給食センター解体工事並びに北舎職員トイレの改修、体育館トイレの洋式化を実施し、これら学校教育に関する予算として七億七千八百八万六千円を計上しました。

生涯学習関係では、経年劣化の激しい八幡公民館受電設備を更新し、安全な施設管理に努める一方、中央公民館や地区公民館等で二百三十の講座・教室を開催して、町民の生涯学習振興を図ることとし、青少年関係では、青少年育成推進員・少年補導員等による、子どもたちの安心安全な育成を進めてまいります。文化財保護関係では、郷土資料の収集、調査等を進めてまいります。これら社会教育に関する予算として、一億五千九百三十七万六千円を計上しました。

総合体育館では、ねんりんピック岐阜二〇二〇スポーツウエルネス吹矢交流大会の開催等により、誰もが生涯の各時期にわたって、それぞれの体力や年齢、目的に応じていつでもどこでもスポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指して取り組んでまいります。これらに関する予算として一億四千七百三万七千円を計上しました。

図書館では、図書館資料の充実、読書活動の推進を図る啓発事業を進めてまいります。今年度は、読書手帳システムを導入した図書館システムの更新を行い、読書普及活動に取り組みます。また、館内の閲覧、学習スペースを増設し町民の図書館利用を図ります。これらに関する予算として七千八百八十九万二千元を計上しました。

次に、国民健康保険特別会計についてご説明申し上げます。

業務内容としては、保険料率の決定、賦課・徴収等を行い、平成三十年度から国保運営の中心的な役割を担う県に納付金を納め、医療給付費等の支払業務や、生活習慣病対策であります特定健康診査事業を実施してまいります。これらに関する予算として二十三億五千万円を計上しました。

次に、後期高齢者医療事業特別会計についてご説明申し上げます。

市町村の事務としては、岐阜県後期高齢者医療広域連合への負担金の納付や、保険料の徴収、各種申請・届け出の受付などの窓口業務を行ってまいります。保健事業につきましては、ぎふ・すこやか健診や、ぎふ・さわやか口腔健診などを実施してまいります。これらに関する予算として三億五百万円を計上しました。

次に、農業集落排水事業特別会計についてご説明申し上げます。

農業集落排水事業につきましては、七処理区が供用されており、生活環境の向上と公共用水域の水環境の再生・保全に寄与しております。これら処理施設の維持管理に関する予算として三億七千八百万円を計上しました。

次に、公共下水道事業特別会計についてご説明申し上げます。

公共下水道事業の池田処理区は、平成十五年四月から供用開始され令和元年度末には、五百四十六ヘク

タールが整備され、進捗率は八十一・九%となります。今年度は、上田地域並びに国道四百十七号線で管渠布設整備を進めてまいります。また、令和二年二月末現在で接続率は約五十八・七%の状況であります。今後も公共マスへの接続を積極的にお願ひし、接続率の向上に努めてまいります。

池田浄化センターにおいては一昨年度から三カ年計画で汚泥処理棟の建設、自家発電設備の整備を進めており、今年度の完成予定であります。処理施設の適正な維持管理や運営に心掛け、健全経営に努めてまいります。これらに関する予算として十一億八千九百万円を計上しました。

次に、温泉施設特別会計についてご説明申し上げます。

池田温泉は、平成八年の本館開業以来、二十三年が経つ中、その泉質の良さから、数々のテレビ・雑誌などメディアで紹介され、東海だけでなく関西方面からも利用者が訪れる温泉として高評価を得てまいりました。しかしながら、本館の施設老朽化も進んでおり、安心安全で快適な空間への建て替えが、今後十年の間には必要となつていくことや、人口減少による利用者数の減少や人件費など諸費用の高騰化に対して温泉の健全経営化を図っていく必要などから、令和二年十月には入浴料金を改定させていただきます。更なる施設整備の充実や接客サービスの向上に努めてまいりる所存であり、今年度は、年間入浴者数四十九万人達成を目標としてまいります。

主な事業内容としましては、本館脱衣場エアコンの更新工事を行います。また、入浴者総数一千五十五万人達成記念や本館・新館周年記念、各季節のイベントなど利用者喜んでいただけるソフト事業も実施してまいります。これらに関する予算として二億七千八百万円を計上しました。

次に小水力発電事業特別会計についてご説明申し上げます。

小水力発電事業は、農業水利施設の持つ再生可能なエネルギーの有効活用と農業施設の維持管理費軽減

と低炭素社会づくりに寄与することを目的として、平成三十年四月より稼働し、故障も無く二年が経過しました。今後も適切な維持管理に努め、効率的な施設利用を進めます。これらに関する予算として八百万円を計上しました。

次に、水道事業会計についてご説明申し上げます。

水道事業は、将来にわたって安定的に事業の継続が必要不可欠なライフラインであるため、経営の効率化を進めつつ、安全、安心な水を供給するために、施設の維持管理、更新に努めてまいります。これらに関する予算として収益的収入に三億八千六十八万円、収益的支出に三億六千五十万五千円、資本的収入に六億五千六百十六万円、資本的支出に八億六十万三千円をそれぞれ計上しました。

以上、議第十九号から議第二十六号まで一括提案申し上げます。令和二年度の町政に取り組む施政方針及び、一般会計・特別会計並びに企業会計予算の提案説明と致します。